事例No.	2704
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	豊後二見ヶ浦事業実行委員会

事例区分	地域活性化

タグ	・観光 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

豊後二見ヶ浦事業実行委員会

出典

令和元年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

豊後二見ヶ浦事業実行委員会　大分県佐伯市

観光振興・交流　コミュニティ

概　要

地元草野球チームが「まちおこしへの挑戦」として、上浦町（現佐伯市上浦）のシンボルとなるものを作り、ふるさとへ日頃の支援に対する恩返しを行いたいという思いで、昭和44年に藻先（現豊後二見ヶ浦の旧呼称）の岩の間に大しめ縄を架けたことをきっかけとして本団体が設立された。

現在では、しめ縄の張り替え作業が年末の風物詩として広く知られるようになり、年末年始にはライトアップにより普段とは違った幻想的な姿も醸し出している。

大しめ縄は一年間厳しい風雨や台風などにも耐え続け「切れず、落ちず、強く結ぶ」ことから縁起の良いパワースポットとして認知されるようになった。

毎年元旦には、全国でも屈指の初日の出スポットとして、大勢の見物客が各地から集まり、新年の幸福を祈願している。



【豊後二見ヶ浦に架かるしめ縄】

評価された点

・地元の草野球チームが始めたしめ大縄づくりが半世紀にわたって継承され、全国的にも注目される日の出スポットとなった。住民有志が始めた小さな取組が新たな地域の伝統を生み出した点を高く評価したい。
・伝統文化、伝統技術の継承とまちづくり、観光を通した地域活性化が程よくつながっている活動
・約半世紀の取り組みで、観光にも大きく貢献し、地域づくりへの貢献は計り知れない。



【地域住民によるしめ縄の張り替え作業】